



SP-1 2050年 脱炭素社会への道(双方向ライブ配信 9/21 13:00-17:00, オンラインポスター発表 9/21-9/25)

化学工学会では地域の産業連携およびコミュニティ連携によるCO₂削減を目指すプランを策定し社会に実装することを目的とした活動を推進するために、地域連携カーボンニュートラル推進委員会を設置いたしました。第86年会のビジョンシンポジウムでは、温暖化ガスの排出量を2050年までに実質ゼロを目指した国内外の情勢、希薄に分散したCO₂の回収・資源転換による炭素循環技術、社会実装に向けた国内外の動向について話題提供し、化学工学が挑むゼロエミッションについて議論いたしました。

これに続いて、本シンポジウムでは、エネルギー・環境イノベーションとその社会実装についての具体的な提案について、会期前日の9月21日午後、招待講演、依頼講演、ポスター発表を実施いたします。なお、9/21-25までポスターは終日閲覧可能です。双方向のコメントのやりとりも可能です。化学工学が拓く未来社会をみなさまとともに語り、この活動を通じて学会全体の分野融合研究の推進と学術の発展に貢献することを期待しています。

【招待講演】カーボンリサイクル技術の現状と実用化展開

(広島大学) 齊間 等 氏

【招待講演】地域新電力としての歩みと再生可能エネルギーのこれから

(岡山電力株式会社) 平井 敬明 氏

SP-3 SDGs 達成に向けた札幌宣言の実行

—安全な水への化学工学の貢献—(オンライン 9/24 13:00-16:00)



UNITED NATIONS
INDUSTRIAL DEVELOPMENT ORGANIZATION

化学工学会は、2019年9月APCCHe 2019において『国連持続可能な開発目標(SDGs)に関する宣言—人々の「健康、安心、幸福」のための化学工学—』と題する札幌宣言を発表しました。SDGsを共有ビジョンとし、化学工学者が、化学工学と関連する技術の進歩を通して、人々のウェルビーイングの推進への貢献を第一の目的としています。このために、Efficiencyの視点に加えて、Sufficiencyの視点で技術を捉え社会に実装することが求められます。

本シンポジウムでは、すべての人々の水と衛生へのアクセスの実現と持続可能な管理に向けた世界の取り組みに焦点をあて、化学工学会内に蓄積してきた豊富な知を活用した課題解決の道を探ります。そのために、先進的な取り組みを学ぶとともに、地域毎に異なる社会的、経済的、環境的な条件を踏まえた異分野との協働を議論します。具体的には、学会内外の多様な視点からの講演に続けて、登壇者に加え参加者の皆さんにも加わっていただいで参加型のグループ討議を実施します。

【基調講演】ウェルビーイングと水

(日本女子大学) 宮崎 あかね 氏

【招待講演】分散型水処理・給水システム -SDGsへの取り組み-

(三菱ケミカルアクア・ソリューションズ(株)) 佐原 絵美 氏・等々力 博明 氏

【展望講演】海の豊かさをもたらす水管理

(広島大学) 西嶋 渉 氏

参加型グループ討議、総合討論

HQ-11 みんなで考えよう、化学工学会の未来を！(オンライン 9/22 17:00-予定)

社会構造が非常に早い速度で変革する中、物質的な豊かさとして生産や所有するよりも共感やシェアリングを志向する社会に対応する学会の姿が求められています。このような背景の中、未来の化学工学会はどうあるべきか？どのように価値向上に取り組むべきか？などいくつかの課題を対象に、会員の皆様とワークショップ形式にて議論させて頂き、学会のブランド戦略の道筋を明確にしたいと思います。正会員、学生会員はもちろんのこと、非会員のご参加も歓迎致します。

HQ-13 女性技術者ネットワーク(オンライン 9/23 12:10-13:00)

女性の技術者、研究者、学生の皆さんの交流の場を提供するとともに、女性の少ない理工系分野でのキャリア形成について情報交換し、ネットワークをつくる目的で本会合を開催します。オンライン開催となりますが、秋季大会の開催会場である岡山大学での男女共同参画の取り組みについてご紹介いただきます。

【招待講演】岡山大学における男女共同参画の取り組み～ウーマンテニュアトラック制度について

(岡山大男女共同参画室) 今村 維克氏

【招待講演】生体鉱物に魅せられて

(岡山大院環生) 根本 理子氏

